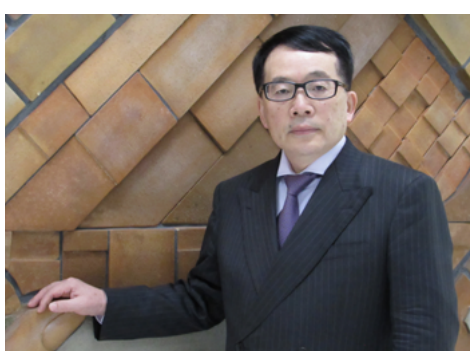


地産地消から 循環・縮小社会へ

～篠原孝著『持続する日本型農業』から考える～



鈴木宣弘

東京大学大学院 教授

すずき・のぶひろ／1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。食料安全保障推進財団理事長。専門は農業経済学、国際貿易論。『農業消滅 農政の失敗がまねく国家存亡の危機』（平凡社新書）、『協同組合と農業経済 共生システムの経済理論』（東京大学出版会）ほか著書多数。

日本農業はグローバル化の波にさらされ、食料安全保障の崩壊危機が懸念されている。衆議院議員の篠原孝氏は、持続的に安全な食料を確保し食料主権を取り戻すためには、地産地消や地域循環型農業を重視すべきだと、長年にわたり主張してきた。ローカルな価値を見直す時代に、篠原氏の著書『持続する日本型農業』（創森社、2023年）が日本農業の針路を考えるヒントになる。

■ 市場原理主義の限界の露呈

「規制撤廃、貿易自由化を徹底すれば、皆が幸せになれる」という「市場原理主義」は、皆を守るルールを破壊し、人々の命や資源・環境を蝕んでも、政権と結びついた一部のグローバル企業などが利益を集中するのに貢献し、日本や多くの途上国の家族農業を苦しめ、貧困、格差の拡大と食料自給率の低下、食の安全性の低下を招いた。

海外からの輸入が滞るリスクも高まってきている今、貿易が止まったときに命を守るコストをまったく勘案しない「自由貿易論」が理論的に間違っていたことも明白になった。そして、今こそ、「地域の種からつくる循環型食料自給圏」構築の重要性は間違いなく高まっている。

衆議院議員の篠原孝氏は、その重要性を早くから一貫して提唱してきた一人と言えよう。それがいかに正鵠(せいこく)を射ていたかが今、証明されている。篠原氏の最新著『持続する日本型農業』を読むとよくわかる。

篠原氏は現在、立憲民主党衆議院議員で政界に入り20年近くになるが、元は農林水産省の官僚であった。20代後半に米国留学で大規模な米国農業を目の当たりにし、1982年に書いた論文「21世紀は日本型農業で一長続きしないアメリカ農業」という論文を書き、その一部が『週刊エコノミスト』に「アメリカ農業の知られざる弱さ」として紹介された。さらに、1985年の『農的小日本主義の勧め』で注目された。京都大学の農学博士号も持ち、官界と学界の二足のわらじを履いていたが、2003年には政治家になり、ついに三界に身を置くことになった異才だ。

篠原氏は、2012年に『T P Pはいらない!』『原発廃止で世代責任を果たす』という本も出している。時の野田政権に同じ党内にいて真っ向から楯突いたのである。貿易が一段と自由化され、農村はジワジワ追い込まれ、日本の経済もがたつき、GDPも第4位に転落している。能登半島地震では、志賀原発が動いていたり、珠洲原発があつたりしていたら、一大事になっていたことに国民は震撼したはずである。篠原氏の心配した通りになっている。



篠原孝著『持続する日本型農業』には、日本農業を難局から脱するヒントが詰まっている

■ 元祖「地産地消」「旬産旬消」

政治家に転身後、毎週3000字のブログ^{*}を書いたのが1000篇を超え、うち農業関係の約200編から、筆者の真骨頂の日本型農業に深くかかわる部分を40編にまとめたのが『持続する日本型農業』である。

処女論文と本書と、その底流に流れる農政・農業に対する考え方は一貫して変わっていないことに驚かされる。農林水産省は伝統的に規模拡大、専業農家中心の政策を推進しているのに対し、第1章「地産地消から循環・縮小社会へ」で端的に述べられているように、著者は、自然に対する謙虚な農法、すなわち有機農業に親近感を抱き、拡大よりも循環を重視すべきと説いている。

その地で生産したものをその地で消費するのが最も理にかなった生き方とする「地産地消」を初めて使ったのは篠原氏で、「旬産旬消」も篠原氏の造語であるといわれている。篠原氏は「地産地消」「旬産旬消」の生みの親といえる。

第3章では、食料安全保障のためには種を重視すべきとし、地域での種の循環を取り戻す必要性を力説している。第4章では、飼料を全面的に外国に頼る畜産の立て直しのための地域循環型畜産について論じている。

農水省の役人にも国会議員にも篠原氏ほど筋を通せる者は少ない。しかも、まさに正論で、本書のどこを読んでも「その通り」と膝を打ちたくなる。本書は日本の地域を守るための必読書と言ってよい。最終章「風土に人あり志あり、希望あり」には、著者の農業人との交流が愛情溢れる筆致で綴られている。「私の農業遍歴」もほのぼのとした物語だ。この章から読み始めるのもよい。一読をお勧めする。

※篠原孝氏のブログは[こちら](#)から。

